

日刊 建設工業新聞

3月13日

水曜日
第18181号

(3) 2013年(平成25年) 3月13日(水曜日)

石巻市に子会社

復興関連業務を展開

オオバ

オオバは、東日本大震災後、被災地の復興事業が本格化している状況を背景に、宮城県石巻市に子会社を設立する。地元企業として復興まちづくりに関与し、7月から事業活動を開始する方針だ。子

オオバは、東日本大震災後、被災地の復興事業が本格化している状況を背景に、宮城県石巻市に子会社を設立する。地元企業として復興まちづくりに関与し、7月から事業活動を開始する方針だ。子

オオバは、東日本大震災後、被災地の復興事業が本格化している状況を背景に、宮城県石巻市に子会社を設立する。地元企業として復興まちづくりに関与し、7月から事業活動を開始する方針だ。子

・3%、完全子会社の日本都市整備横浜市中区、中野恵一社長)が16.7%を出資する予定だ。社長はオオバの関口良一(復興事業本部副総監兼責任者兼震災復興事業本部事業部長兼管理部長)が就任する。

復興関連業務を展開。オオバの受注案件で実務を担当して実績を重ね、いずれは単独での業務受注を目指す。事業エリアは東北全域。復興事業の本格化に伴い、各地で区画整理や高台移転の計画検討が進む中、調査測量などの業務も発注量が増大すると見込まれる。

同社は、よりスムーズに業務を進めるには「法人格を持ち地元を本拠にした方が良い」と判断。復興まちづくり実施計画の策定業務など通じ、関係が深まっている石巻市に子会社を設立することにした。

復興関連業務の割合は高い。石巻市復興まちづくり実施計画策定(その1)(その2)業務以外にも、鹿島とJVを組み都市再生機構と基本協定を結んだ「女川町震災復興事業」の工事施工等に関する「体的業務」(CM方式を活用した震災復興事業)、宮城県山元町と委託契約を締結した「山元町新市街地整備CM業務」などを担当している。

設立する子会社は定款に調査測量だけでなく、建設コンサルタントも明記。事業活動が軌道に乗った段階で業務拡大を図っていく考えだ。

受注高に占める復旧・